

達成度：R6.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

学校教育課の目標（令和5年度）自己評価書

学校教育課長 會田 悦久

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 学校運営への支援</p> <p>(1) 創意ある教育課程を推進し、学力の向上を図ります。</p> <p>(2) 学習指導等専門支援員、介助員等の配置により、個に応じたきめ細かな指導を推進します。</p> <p>(3) ICT 授業支援教員を配置し、1人1台端末、デジタル教科書などの ICT 機器の活用を図り、教育的効果を高める授業改善を推進します。</p> <p>2 特色ある教育活動の推進</p> <p>(1) 人権・同和教育の推進に努めます。</p> <p>(2) 教育ファシリテーターを活用し、ふるさと学習（酒々井学）を推進し、地域に誇りと愛着を持つとともに、町や地域等に貢献できる児童生徒を育成します。</p> <p>(3) ALT、小学校英語専科教員の積極的な活用により、英語力を高め国際社会で活躍できる児童生徒を育成します。</p> <p>※国際交流派遣事業は、新型コロナウイルス感染症等の影響により令和5年度</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>4</p>	<p>・各校の授業改善を進めることができました。</p> <p>・各種支援員等の配置により少人数指導等、きめ細かな指導を行うことができました。</p> <p>・人的配置が充実したことで、個に応じた指導を進めることができました。</p> <p>・ICT 授業支援教員、ICT 技術支援員により、授業における ICT 利用が進み、授業改善に向かっていきます。</p> <p>・酒々井中学校で人権教育授業研究会を開催し、人権教育の在り方について研修を深めました。</p> <p>・教科と関連付けながら、ふるさと学習を推進することができました。こども模擬議会では、自分の町をよくしていこうとする提案型の質問が多くありました。</p> <p>・町のために自分たちができることを実践する事例もありました。</p> <p>・人的配置が充実し、英語力の向上が図られました。</p> <p>・令和6年度の国際交流（派遣・受入れ）事業実施について交流校と合意し、2月下旬には派遣候補者が決定しまし</p>

<p>も中止、受入れ事業は延期としました。</p> <p>(4) 保育園・こども園と小学校のふれあい交流会、小学校と中学校間の学習や基本的な生活習慣の継続的な取組により、保小中が連携して一貫性のある指導を実践します。</p> <p>(5) 「豊かな心を育む CTS プラン事業」をとおして、各学校の特色ある教育活動を支援します。</p>		<p>た。</p> <p>4 ・保小中連携推進協議会やその分科会等を通して、保小中が連携した実践を計画し、実践してきました。</p>
<p>3 教職員の資質や指導力の向上</p> <p>(1) 不祥事根絶に向けて研修を進め、教職員に高い倫理観を維持させます。</p> <p>(2) 学校からの依頼に応じて教育アドバイザーを各校に派遣し、特に若年層教員の指導力向上のための助言・指導を行います。</p>	<p>5</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>・CTS プラン事業を通して、学校独自の特色ある教育活動を推進することができました。</p> <p>・不祥事根絶研修及びモラルアップ委員会の計画的な実施により、高い倫理観、意識の向上を図りました。</p> <p>・校長向け及び全教職員向けの不祥事根絶研修会を実施しました。</p> <p>・教育アドバイザーの派遣により、若年層教員の学習指導及び生徒指導に関する助言・指導を実施し、指導力向上が図られました。</p>
<p>4 教育条件の整備</p> <p>(1) スクールバスを運行し、酒々井小学校児童の交通手段を確保します。</p> <p>(2) 「修学旅行への助成事業」により、保護者の経済的負担軽減を図ります。</p> <p>(3) 部活動の地域移行を試行し、課題を整理します。</p>	<p>5</p> <p>5</p> <p>2</p>	<p>・55名に対して、交通手段を確保することができました。</p> <p>・予定どおり修学旅行への助成を実施し、保護者の経済的負担軽減を図りました。</p> <p>・指導員の確保が難しく、試行することができませんでした。</p>
<p>5 チャレンジ目標</p> <p>(1) 千葉県的人事評価制度の適切な運用がなされるよう各校に指導し、評価の信頼性を高めるとともに、評価が人材育成につながるよう、意識化を図ります。</p> <p>(2) 小学6年生及び中学生の英語検定を積極的に支援し、主体的な学習による英語力</p>	<p>4</p> <p>4</p>	<p>・適切に実施することができました。日常的な助言と記録により、人材育成を図りました。</p> <p>・中学3年生の英検3級以上の取得率は41.4%（昨年</p>

<p>の向上に努めます。</p> <p>(3) 学校の行う不登校対策への支援を実施します。</p> <p>(4) 教員の働き方改革を推進し、児童生徒と向き合うことのできる時間の確保を図ります。</p>	<p>4</p> <p>3</p>	<p>比-7.6%)となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生の英語学習への関心を高め、英検受験率は、52.5% (昨年度比+28.9%) となりました。 ・フリースクールを活用した学習活動に関して町の「ガイドライン」の運用を始めました。 ・働き方改革を推進しているものの、勤務時間は微減にとどまっている状況です。ICT活用などにより、様々な校務の効率化を図ります。
--	-------------------	--